



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

寄付するあなたも赤十字です

赤十字 寄付



日本赤十字社

日本赤十字社 @JRCS_PR

JapaneseRedCrossPR



活動を支えていただける皆さまへ

日本赤十字社のご案内



救いを託されている。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社に
ご支援いただき、
まことにありがとうございます。

自然災害の激甚化、頻発化に加え、追い打ちを
かけるかのように蔓延した新型コロナウイルス感染症。
全世界が未知の感染症によってこれほど大きな影響を受け、
急激に変容することになろうとは想像もできませんでした。
日本赤十字社は、この新型コロナウイルス感染症に対しても、
総力を傾けて戦ってきました。
昨年2月の横浜港クルーズ船内への医療救護班派遣に始まり、
急増する感染者に対する医療の確保、
さらに、ウイルスがもたらす不安・偏見・差別をなくすための
啓発活動へと広がりました。

赤十字は「救いを託されている」団体です。
どんな社会の変化にも、どんな課題にも、
柔軟に対応していかなければなりません。
我々の新しい挑戦が始まります。

日本赤十字社 社長

大塚義治

赤十字をはじめて知る方へ



Q. 赤十字って何をしているの？

A. 赤十字は、国内外の**災害（地震や台風など）の現場に駆けつけ、いのちを救うための医療や看護の支援**を行っています。

Q. 誰が活動しているの？

A. 普段は赤十字の病院に勤めている**医師・看護師・助産師・薬剤師**や赤十字の活動に賛同する**ボランティア**などが駆けつけます。



Q. 赤十字は税金で活動しているのですか？

A. いいえ、赤十字の活動のほとんどが**皆さまからのご寄付により支えられており**、救護班の育成や救護物資をお配りするための費用に役立てられています。





コロナ禍での赤十字の活動

国内救護活動 ▶ P5

地震や台風など自然災害の現場に駆けつけ、感染症対策を行いながら救護活動を実施します。



国際活動 ▶ P7

海外で発生した災害や紛争、感染症等の病気で苦しむ人びとを救うため、救援や復興支援、予防活動に取り組みます。



大切な人を使う時、 赤十字が動く時。

誰かを救いたいという気持ちは、誰の心の中にもある。

けれど、自らの手でできることばかりではない。

災害の現場で、救助活動ができるわけではない。

どんなに心配でも、すぐに現地に駆けつけることはできない。

“救いたい”。その思いを託されて、わたしたちは駆けつける。

災害の最前線で活動する。

赤十字を動かしているのは、あなたの思いです。

ボランティアなどの 育成 ▶ P8

全国の赤十字ボランティアや青少年赤十字メンバーが感染防止に配慮しながら、地域に貢献しています。



救急法などの 普及 ▶ P8

感染防止に配慮しながら、身近な人を救うための知識と技術の普及を行います。



令和2年7月豪雨災害(熊本豪雨)

[令和2年7月]

令和2年7月に熊本地方を中心に発生した豪雨災害では、十分な感染対策を講じたうえで、発災直後から救護班等を被災地に派遣し、避難所での巡回診療や救援物資の配布などを行いました。コロナ禍での活動のため、被災者及び救護員の安全確保を最優先とし、より緊張感をもって取り組みました。

主な実績	派遣した救護班数	54班
	配布した救援物資	
	・毛布	2,268枚
	・安眠セット	997セット
	・緊急セット	1,238セット
	活動した赤十字ボランティア数	501人



クルーズ船および
一時滞在施設等における
救護活動

[令和2年2月]

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」での新型コロナウイルス感染症の集団感染において、救護班など、延べ142名の職員を現地に派遣し、乗員乗客3,711人の健康の確保等に務めました。また、一時滞在施設での健康相談・健康チェックなどにも従事しました。

クルーズ船 救護班要員

計	内訳				
	医師	看護師	薬剤師	助産師	主事 (管理要員)
67名	13名	27名	10名	1名	16名

+

クルーズ船 日本DMAT隊員

計	内訳			業務 調整員
	医師	看護師		
75名	26名	17名		32名

一時滞在施設等

計	内訳				
	医師	看護師	薬剤師	放射線 技師	主事 (管理要員)
113名	41名	36名	12名	1名	23名



障害者支援施設での
クラスター拡大を防ぐ
医療活動

[令和2年4月]

北海道紋別郡にある、障害者支援施設でのクラスター発生にあたり医療チームを結成し、4月29日から5月31日まで活動しました。医師・看護師が入所者一人一人に往診、PCR検査や薬の処方を行いました。



感染症対策啓発活動

[令和2年4月]

新型コロナウイルス感染症から、体だけではなく、心を守り、社会を守るための心構えを伝える絵本アニメーション「ウイルスの次にやってくるもの」を制作し、4月21日に公開しました。



ベイルート爆発災害の救援・復興支援活動 [令和2年8月以降]

犠牲者200人以上、負傷者も6,500人を出した大災害の中、現地ではレバノン赤十字社が救護活動や輸血用血液の確保・供給をはじめとしてさまざまな支援を実施しました。緊急救援期を終えた後も、長期支援計画の下、災害からの復旧・復興に向け、各世帯を訪問して家屋の被災状況の確認やニーズ調査を行い、人びとのニーズに応える支援や、人びとに寄り添った支援を赤十字ボランティアと共に継続して行っています。

主な活動実績

現場で医療支援を受けた人……………1万2,249人
病院へ提供された輸血用血液バッグの数……………6,219個
食料及び衛生用品キットなどを受け取った人……………8万2,383人
被災状況訪問調査を行った世帯の数……………2万7,513世帯
新型コロナウイルス感染症に関連した救急搬送数……………1,922件
こころのケア(心理社会的支援)を受けた人……………5,762人
現金給付支援を行った世帯数……………1,296世帯



ルワンダでの 保健衛生啓発活動

アフリカのルワンダでは、去年まで映画の上映会を開き保健衛生や防災などの啓発活動を行ってききましたが、現在はラジオ放送や、スピーカーを積んだ巡回宣伝カーで「手洗いの大切さ」を歌詞にした曲を流し、知識の普及を図っています。主役は地元のボランティア。知恵と熱意でコロナに立ち向かっています。

主な活動実績

モバイルシネマ……………48回(約2万4,000人視聴)
モバイルラジオ……………30回(約3万7,500人視聴)
ラジオ放送……………96回(約705万人視聴)



赤十字ボランティア

全国に約119万人いる赤十字ボランティアは、新型コロナウイルス感染症を乗り越えるため活動しています。飛沫による感染を防ぐために必要なマスク作製をはじめ、医療施設等で不足しているビニールガウン等の代替品作製などを行いました。これからも多くの人のいのちと健康を守る活動は続きます。



青少年赤十字メンバー

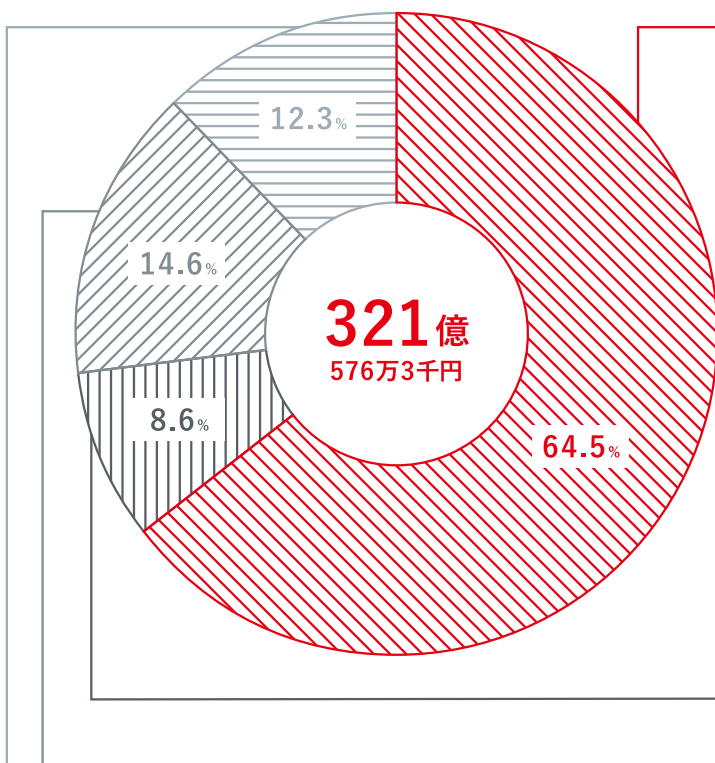
全国に約350万人いる青少年赤十字メンバーは、コロナ禍においても感染防止に配慮しながら、地域貢献活動を続けています。学生向け防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」も、オンラインで配信することができました。今後は、グループワークもオンライン上で試行する予定です。



救急法などの普及

2020年、各地で開催された救急法講習会は、新たな形が導入され始めています。例えば高校生1,450人を対象に「コロナ禍における一次救命処置」の講習会を開催。各クラスの代表者10人ほどがメイン会場で受講し、その他の生徒はオンラインで胸骨圧迫の実技を受講しました。

国内外で苦しんでいる
人びとを救うため、
皆さまから託されたご寄付を
活用しています。



苦しんでいる人びとを救うための費用

207億2302万9千円

国内外における救護活動

国内災害対応や国際活動、
復興支援などに使われた費用です。



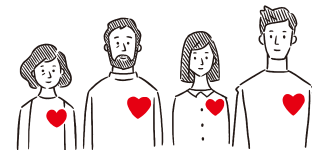
防災活動

防災イベント・セミナーなどに
使われた費用です。



感染症に対する活動

新型コロナウイルス感染症対策の
ために使われた費用です。



ボランティアの育成

ボランティアの育成や活動に
使われた費用です。

広報活動のための費用 | 27億7141万7千円

広報・普及活動

会員への参加呼びかけや広報活動、寄付の募集のために
使われた費用です。

事務のための費用 | 46億7500万7千円

事務管理

支部、病院、社会福祉施設の事務局・本部機能として、施設負担を
除いた事務経費に使われた費用です。

その他の費用 | 39億3630万5千円

次年度の活動

次年度当初の活動のために使われる資金です。

※千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と各項目の合計金額は一致しません。

あなたのご寄付でできること



皆さまからのご支援は、赤十字のさまざまな活動や救援物資の購入などにカタチを変えて、緊急時に寄り添います。

2,000円

▶ 感染症防護具 / 約1人分

感染症まん延状況下で救護活動を実施する際に必要な防護具(マスク、フェイスシールド等)約1人分を備えることができます。



3,000円

▶ 安眠セット / 1人分

避難先での生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンプマット、枕、アイマスクなどが一式収納された「安眠セット」を1人分備えることができます。



5,000円

▶ 緊急セット / 1セット 4人分

避難先での生活にあると便利なマスク、ウェットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが一式収納された「緊急セット」を1セット(4人分)備えることができます。



10,000円

▶ 感染症対策ガイド / 260冊

新型コロナウイルス感染症への理解を深め、さらには不安な気持ちや差別、偏見などが広がることを防ぐために、地域で配布するガイドを260冊製作することができます。



25,000円

▶ 心肺蘇生訓練人形 / 1体

緊急時のいのちを救うための方法のひとつ「心肺蘇生」を正しく学ぶための訓練を多くの市民の方に実施できる器具「心肺蘇生訓練用的人形」1体を整備することができます。



100,000円

▶ 訓練用AED / 1台

緊急時のいのちを救うための方法のひとつ「AED」を正しく使うことができるトレーニングを多くの市民の方に実施できる器具「訓練用AED」1台を整備することができます。

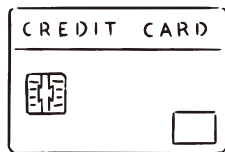


※事業内容は令和2年度のものを参考に掲載しております。

日本赤十字社へのご寄付の方法

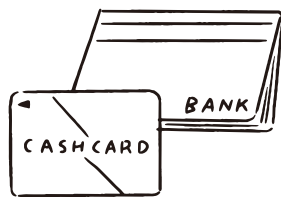
クレジットカードで寄付

Webサイトからの登録により、クレジットカードでご寄付いただけます。ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみからお選びいただけます。



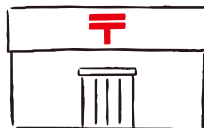
郵便局・銀行の口座振替で寄付

ご希望の口座から自動引き落としでご寄付いただけます。お申込みには「会員加入申込書」をお送りください。ご寄付の頻度は毎年・毎月からお選びいただけます。



郵便局・銀行の窓口で寄付

日本赤十字社では郵便局（ゆうちょ銀行）や銀行などで寄付専用口座を開設しております。



お近くの日本赤十字社窓口で寄付

お住まいの都道府県にある全国47箇所の日本赤十字社支部窓口でもご寄付を受け付けております。



スマホアプリ

J-Coin Pay「ぼちっと募金」を使って寄付

みずほ銀行や全国90以上の金融機関で口座をお持ちの方は、スマホ決済アプリ「J-Coin Pay」からご寄付いただけます。



カードのポイントで寄付

クレジットカードでの買い物や、各種サービスでカードに付与されるさまざまなポイントを利用して、ご寄付いただけます。



コンビニで寄付

コンビニエンスストアにある情報端末（ファミリーマート「Famiポート募金」、ローソン「Loppi募金」）で、ご寄付いただけます。

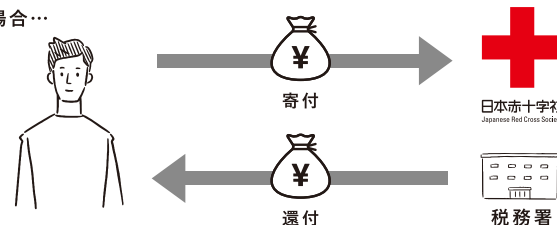


寄付方法の詳細は、日本赤十字社Webサイト「寄付する」のページをご覧ください。

税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や、企業の法人税の優遇措置を受けられます。

個人の場合…



所得控除の計算式

$$A: \text{年間所得総額} - B: (\text{寄付金額}^* - 2,000\text{円}) = C: \text{所得税課税対象額}$$

※ただし、寄付金額は年間所得総額の40％が上限となります。

表彰制度のご案内

活動資金や献血などにご協力いただいた場合は、表彰制度を設けています。詳しくは、日本赤十字社のホームページ又は、各都道府県支部までお問い合わせください。

※寄付などの協力に際して取得する個人情報は、日本赤十字社の広報活動や事業資金などの募集のためにのみ使用します。詳しくは、日本赤十字社Webサイトをご確認ください。